

## 村上市総合計画進捗検討会議 概要

会議名	第1回 村上市総合計画進捗検討会議
年月日	令和4年10月17日(月) 15:15～17:00
会場	村上市荒川支所 2階 会議室
出席者	<p>青山氏（オンライン）、飯塚氏、岩佐氏、宍戸氏（座長）、仲氏、長島氏、畠山氏、八藤後氏</p> <p>企画戦略課：大滝課長、山田参事、忠課長補佐、田村副参事、渡辺主査、山田主査</p>
議事概要	
座長	<p>1 開会</p> <p>2 課長挨拶</p> <p>3 座長の選出 (座長に宍戸氏を選出)</p> <p>4 議事</p> <p>(1) 村上市総合計画進捗検討会議の進め方(案)について(資料1、2) (事務局が資料1、2を説明) (質疑なし、了承)</p> <p>(2) 第2期村上市総合戦略の進捗状況(令和3年度分)について(資料3、4) (事務局が資料を説明)</p> <p>○資料4の4ページ、「高齢者の就労支援・社会参加・生きがいつくり事業」 実績値が基準値より0.3歳後退している。老人クラブの加入者数の減少と記載があるが理由を教えてください。</p>
事務局	<p>老人クラブに入らないから実績値が後退したという直接的な原因は分からないが、老人クラブの廃止や老人クラブに加入しないという高齢者は増えてきており、活動が進まない実態はある。一方で65才を過ぎても働きたいという高齢者もいる。シルバー人材センターや生涯学習活動のサークルや高齢者大学など老人クラブ以外の生きがいつくりの場が増えてきている。それらも老人クラブの活動が減少した理由と思われる。</p>
座長	<p>日常においても元気な高齢者を見る機会があり、そのような高齢者が増えていると思われる。</p>
出席者	<p>ここ数年、大学でも転倒予防教室を開催していたが、コロナ禍で2年間開催できなかった。自宅に閉じこもっている人は多い。元気だけだと外に出ると感染したら困るなど、生活が不活発になっている人が多い。秋から転倒予防教室を再開したが、今までは1回50人程度の参加があったが、今は15人程度の申込である。まだ怖くて外に出られない人が多いようである。</p> <p>老人クラブについて、50代、60代の人に聞いたところ老人クラブの老人という言葉に抵抗があるという人が多かった。後期高齢者になっても抵抗を感じる人はいる。健康づくりクラブなどに名称を変更すれば良いのかもしれない。</p>

出席者	<p>後期高齢者の人で運転免許証をいつ返納するかを悩んでおり、返納すると自分の足が無くなるが、自分はまだまだ動きたいし動ける。そういう意識は大事である。いつまでも元気でいたいという気持ちが大事であると感じた。移動を市内の公共交通機関が担っていいのか心配である。</p> <p>また、老人クラブというくりにしないで欲しいと女性は特に思うのではないか。</p>
出席者	<p>○資料4の1ページ、「村上牛生産振興対策事業」</p> <p>村上牛出荷頭数の増加に向け目標値 415 頭としているが実績値が基準値より減少している。生産農家が2軒廃業しているとあるが原因を調査はしているのか。経営が苦しいのであれば目標値の設定を見直す必要もある。</p>
事務局	<p>廃業した2軒は高齢化によるものと聞いている。目標値の設定について、村上牛のブランドを維持するには500頭必要であると言われており、胎内市の生産者と合わせて500頭をキープしている。本市でも400頭ぐらいの確保を目指したい。</p>
出席者	<p>高齢化で廃業されたという点について、後継者がいなかったということか。</p>
事務局	<p>市内には13の生産者がいるが、そのほとんどで後継者がいない。JAや関係機関等と協議を進めているがなかなかうまく進んでいない。</p>
座長	<p>なぜうまく進んでいないのか。</p>
事務局	<p>村上牛は鮭と並ぶ村上市の貴重な特産物である。市ではJAにいがた岩船が母体となり繁殖牛と肥育牛の飼育が一带となった施設の建設を検討してほしいとJAにいがた岩船に要望をしたところであるが、JA合併を控え、実現には至っていない状況である。引き続き、市としても事業実現に向けて取り組むべき課題であると考えている。</p>
出席者	<p>○資料4の5ページ、「小中学校地域学習事業」</p> <p>中学校の実績値が基準値に比べ12%増加しているが、その理由は分析しているか。</p>
事務局	<p>コミュニティスクールが始まっており、地域と協働活動をする授業を積極的に取り組んでいる結果、伸びてきている。</p>
出席者	<p>○資料4の5ページ、「空き家バンク移住応援補助金」</p> <p>すでに目標値をクリアしている。修正案で目標値の修正は上がっていないが目標値を修正する予定はあるか。</p>
事務局	<p>目標値を150人程度に修正していきたい。現在調整中であり、まとめ次第示したい。</p>
出席者	<p>○資料3の基本目標4、共通目標1</p> <p>基本目標4や共通目標1の達成率が低いですが、資料をみると人流という観点から新型コロナウイルス感染症が原因であると考えられる。これが回復してくれば改善すると思われる。ただ、金融業界もそうだが、ウィズコロナやアフターコロナにおいて、元どおりに戻るかということを懸念している。ウェブで対応可能であるた</p>

	<p>め東京出張も全くない。コロナ禍が終わっても100%までは戻らないということを考えていかなければいけない。実績値がマイナス傾向のところはコロナ禍という理由が多いと感じられる。</p>
出席者	<p>○資料4の7ページ、「子育て世代包括支援センター事業」</p> <p>実績値が基準値より下がっているが、この指標は、人それぞれ感覚が違うので目標を上げるのはなかなか難しいと思われる。市がこれだけの事業をやっているということに非常に感心した。アンケートをやるとだいたい5段階で真ん中に寄るということが多いと思われるが選択肢はどのようになっているのか。</p>
事務局	<p>アンケートは全国で統一されたものであり、乳幼児健診情報システムにより、検診の際に保護者に必ず実施している。「この地域で今後も子育てをしていきたいですか」という問いに対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」と4つの選択肢より回答をいただいている。</p>
出席者	<p>相対的に90%を超えていることはすばらしいと思われる。</p>
出席者	<p>○資料4の4ページ、「ハッピー・パートナー企業への支援」</p> <p>実績値の企業数が増加している。当事業は県の取組であるが市として企業に働きかけをしているのか。</p>
事務局	<p>市から各企業に対する制度周知をして登録を増加させる取組をしている。</p>
出席者	<p>企業に直接的に声かけをしているのか。</p>
事務局	<p>直接訪問の実施については承知していない。チラシ、ホームページ、SNS等で周知をしている。</p>
出席者	<p>新潟県女性財団では、今年度から新たに新潟県からの委託を受け、企業における男女共同参画を推進する「ハッピー・パートナー企業」の登録・支援事業を行っている。市町村が新潟県と一緒に取り組んでいることはとてもありがたい。第2期村上市人口ビジョンをみると若い女性の転出者が多いということで、男女が働きやすい職場づくり、子育て支援の取組が多く掲載されているが、20歳前後から結婚前の若い女性にとって魅力のあるまちづくりも大事だと思われる。コロナ禍において非正規雇用の女性がとても窮地に追いやられていることが顕著である。女性の就業者の半数以上が非正規雇用であり、女性の希望が叶うような職場、働き方ができることが大事である。自分のまちで働きたいという思いが人口流出を食い止めることの一つになると思われる。この辺をターゲットにした取組が大事であると思われる。</p>
出席者	<p>○資料4の6ページ、「男女共同参画推進事業」</p> <p>コロナ禍により実績値が0人はやむ得ないと思われるが、この資料をみると、取組指標ではなく、成果指標がほとんどである。講演会等参加者数が指標となっており、一生懸命取り組んでいるのに0人というのは厳しい。この辺はもう少し評価できるような指標としてほしい。</p> <p>10年ぐらい前にも男女共同参画の取組に携わっていたときに村上市に関わったことがあり、地域の人のお話を聞く機会があった。その時と比べて今は男女共同参画の取組がとても充実していると思っている。</p>

事務局	<p>私は村上市男女共同参画計画策定委員会にも委員として参加している。高橋市長も取組を前向きに力強くおっしゃっている。取組が実績値につながっていけばよいと思われる。それが、女性にとって魅力的なまちにつながっていくと思われる。</p> <p>3世代同居が多いと第2期村上市人口ビジョンに記載もある。昔からの慣習や意識においてなかなか変わっていかないところもある。家族や地域の中で、男女共同参画の意識が進んでいくと若い女性にとって魅力的になっていくのではないかとと思われる。</p> <p>実績値は講演会等を実施しなかったため0人となっておりますが、男女共同参画の取組は実施している。評価されるような指標に見直しを検討する。現在、第3次村上市男女共同参画計画の策定やこども課や生涯学習課でも男性の子育てに関する取組もしていることから評価できる指標を設定したいと考えている。</p>
事務局	<p>現在、女性の働き方改革について注目をしている新潟大学の溝口教授と新たな取組の準備を進めている。新潟大学と村上市と一緒に実態や課題を分析し、企業を巻き込んだ形で働き方改革を進めたいと考えている。</p>
出席者	<p>○資料4の2ページ、「キャリア教育推進事業」</p> <p>コロナ禍のため、医療・福祉・介護・高齢者施設でのキャリア教育の受入依頼を控えたことはよく分かるが、4ページにも介護人材不足と記載があり、コロナ禍ではあるがウィズコロナがいつまで続くか分からないため、ぜひ受入についてお声がけいただきたい。実習生も受け入れられるように現場のほうでも準備が進んでいる。縮小して中学生が職場を見れない環境ではなく、今後の人材不足解消につなげて行ってほしい。</p>
事務局	<p>高校生の介護職場の見学は昨年度3名、今年度については4名と人数は少ないが、実際に現場を見た生徒からは介護士になりたいという声も聞いているので、今後も拡大していきたい。</p>
出席者	<p>村上市子ども・子育て会議では、現在、村上市子どもの未来応援プランの素案づくりや、村上市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しに取り組んでいるが、非常にたくさんの事業が行われている。その会議に出席されている委員からは、村上市の取組を知らなかった、初めて聞いたと発言があった。危惧されることは、様々な事業を村上市で実施しているが、取組は各部署に一任されていて、戦略的に優先順位なども見ながら大きな方向性を示して後押ししていくような体制はできているのか。それとも各担当に任せて実施してここで評価する形でしょうか。あまりにも多くの事業があるがそれが統括されている印象が無いことが心配である。</p>
事務局	<p>子育てに限らず、事業は一つの課で完結するものはほとんどない。様々な課が連携しながら実施しないとなかなかうまく進まないという現状がある。それをすべて管理できていない現状もある。そうした中でも全庁的な会議を開催して意見や情報を共有したり、進め方を議論したり、副市長をトップとした政策調整会議により政策をどのように進めていくかという議論の場はあるので、十分に活用しながら全課横断的に取り組んでいきたいと考えている。</p>
出席者	<p>各課の調整をする機能がどれだけ果たされているかというPDCAサイクルというのでも必要であるのではないかと考える。市は頑張っているがそれを市民が分からないければ本当に残念なことである。事業を推進していく調整機能というものがしっ</p>

	かり機能する必要があるのではないかと思ったところである。
座長	行政はサービスを提供して市民に役立っていると思うところがある。市民から見ればサービスが届いて初めてサービスである。
事務局	市民への発信という部分では市民に届く方法で発信していきたい。
出席者	○資料4の1ページ、「新規就農者支援事業」 基準値や実績値の設定が少ないような気がする。9人という目標値の設定で村上市の農業が大丈夫か懸念されるが、数値の妥当性について聞きたい。
事務局	新規就農者数は市で押さえている数値で、これは市の支援制度を活用した人数となっている。少ない理由は、国の支援制度を活用する人が大半であり、市は国の要件を満たさない人のために要件を緩和して制度を設けている。これまでも市の制度を活用した人が毎年1名程度であったためこのような目標値設定としたものである。
出席者	実態としては国の制度の対象にはならないが、新規就農者数はもう少し裾野が広く、市の農業に携わっている人は多いという理解で良いでしょうか。そのうえで、実績のところ、今後もSNS各種媒体を活用して新規就農者の紹介とあるが、新規就農者がSNSではたして来るのだろうか心配がある。就農意欲の高い希望者は、自治体が奪い合いをしており、積極的に新・農業人フェアなどで取りに行かないと来ないと思われる。SNSでは消極的であり、もう少し工夫の余地があると思われるがいかがか。
事務局	市の制度自体がなかなか周知しきれていないという部分がありましたので、市の制度を活用された人を特集で取り上げるなど、広く周知することで関心を持っていただくというねらいで記載をしたところである。おっしゃるとおり新規就農者は奪い合いのところもあるので、より積極的に働きかけをしたい。
出席者	ぜひそのようにしていただきたい。村上市総合戦略に掲載するかは別として、県の制度を活用する人と市の制度を活用する人について2本立てで声をかけていただくことで選択肢が広がるので強力で打ち出してほしい。
	(3) 村上市過疎地域持続的発展計画の進捗状況(令和3年度分)について(資料5) (事務局が資料5を説明)
出席者	○資料5の6ページ、「特定健康診査受診率」 実績値が25.1%であり基準値より大幅に低下しているがその要因はどのようなものか。
事務局	特定健康診査受診率は集計に時間がかかるため、今回は令和2年度の実績値である。令和2年度は新型コロナウイルス感染症が市内でもまん延しており、検診についても一部縮小して実施したため、また、受診者も受診を控えた状況もあり低下したものである。
出席者	○資料5の7ページ、「NRT偏差値平均(小学6年生、中学3年生)」 小学6年生が1.7低下している状況ですが、この要因はオンライン授業などが

	考えられるのでしょうか。
事務局	<p>中学3年生の0.4の差は誤差の範囲ではないかということでした。小学6年生については、この学年が5年生のときは51.4であり、令和2年度の6年生は52.3、この6年生が5年生の時は52.7であった。学年度としてみれば低下の幅は大きくはないが、この偏差値をもとに弱点を克服できるようなカリキュラムに取り組んでいると報告を受けている。</p>
座長	<p>N年度または、N+1年度であっても、学力の向上を図っていくことが市の取組であると考えているがいかがか。</p>
出席者	<p>目標値に向かって取り組んでいただきたい。</p>
事務局	<p>おっしゃるとおりである。目標値に向かって努力していきたい。</p>
出席者	<p>○資料5の1ページ目、「合計特殊出生率」 実績値が向上しているがその要因は分かるか。</p>
事務局	<p>特殊な事業があったかどうかは分からないが、今後も推移は見守っていきたい。</p>
出席者	<p>○資料5の2ページ目、「空き家バンク制度を利用した移住者数」 遠方などどの地域の人が多く利用しているのでしょうか。</p>
事務局	<p>本制度は当初は市外の人を対象としていたが、市内の人からも利用したいという声があり、現在は市内の人でも利用できる制度となっている。実績値の大半は市外からの利用者である。</p>
座長	<p>利用者の属性については市の政策にもつながることからリサーチをしていくべきである。</p>
出席者	<p>空き家バンクはどれぐらいの家賃、費用で借りることができるか。</p>
事務局	<p>賃貸ではなく売買としている。所有者が売値を決め、市ホームページに掲載し、希望者とマッチングしている。</p>
出席者	<p>価格はいくらぐらいでしょうか。</p>
事務局	<p>価格は100万円以下や、3,000万円の古民家のようなものもある。長期間、売却にならない場合は値下げをしている物件もある。</p>
事務局	<p>市では市所有の普通財産の売却も行っている。公募後に入札を行い、購入希望者が無い場合は設定価格を下げて、改めて実施している。物件は主に更地であるが住宅を新築して定住にもつながる。価格については宅建協会による市場価格を踏まえ適当なものとしている。</p>
出席者	<p>市の子ども・子育て会議に関わってきたが、人口減少の現実はどうしようもないものとしてあきらめムードが多少以上に流れている会議であった。本市の課題は人口をいかに増やすかということに尽きるのではないかと思っている。全国の過疎地域で人口増加に転じた自治体を見るとやはり住宅をしっかりと提供するとい</p>

出席者	うことを頑張っていると感じた。人を呼ぶためには住宅が大事であるとする。
事務局	○資料5の7ページ、「NRT偏差値平均（小学6年生、中学3年生）」 その年々の学年の色があると思うが、支援校の児童生徒も一律この平均値の対象でしょうか。
事務局	テストを受けた人の平均となっているが、質問内容については把握しておりませんでした。
座長	第2回村上市総合計画進捗検討会議までに確認してください。
出席者	○資料5の3ページ、「サテライトオフィス等の誘致件数」 コロナ禍は人と関わる、招いてくるのが難しい数年間であった。逆にこの時期だからオンライン化により都会で仕事していた人が、地方に来ることができるようになることが注目された時期でした。実績値は0件であったが、この困難な時期を逆手に取った重要な取組だと思われる。どのようないきさつでどのような取り組みをしたのか把握していたら聞かせてほしい。
事務局	この取組を行うにあたり、市では支援制度を設けた。施設改修やインターネット整備費用に対して補助をするもので対象経費の半分を補助し、上限を100万円としたが、サテライトオフィスの誘致までには至らなかった。他市では市がサテライトオフィスを用意するものが多く、市でも市所有物件だけでなく民間の協力を得ながら施設の検討を進めているところである。
座長	サテライトオフィスの誘致、定住人口の拡大においても、呼び込み策については各自自治体が競っている。そこで勝っても5年たつて帰られては意味がない。広島県の取組では成果が見られる。理由としては、その後のフォローアップも県が市町村と連携して実施している点である。市も事業者や住民へのフォローアップに十分留意してほしい。
座長	<b>（4）第2期村上市総合戦略及び村上市過疎地域持続的発展計画の変更（案）について（資料6）</b> （事務局が資料6を説明） （特になし、了承）
座長	全体をとおして発言があればお願いしたい。 （特になし）
出席者	<b>5 その他</b> <b>（1）次回の開催について</b> （事務局がホームページへの掲載方法とあわせて説明）
出席者	農地と山林について所有権移転登記が全然されていないケースがみられる。農業や林業の関係で事業が衰退していく要因となっていると思われる。相続のタイミングで登記がされるように対策は何か検討したほうが良いと思われる。
事務局	相続時の名義変更については、その後の売買など利益や不利益に関することがなければ実施しないケースがみられる。再来年度、相続登記が義務化となるため、市からも周知してくものとする。

